



資料館だより

No.17
2008年
3月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

大気汚染環境基準をめぐる確認書 原本発見 ～現物っていいなあ～

日本の大気汚染の歴史の中で、大気汚染物質である二酸化窒素の環境基準が1978年に2～3倍に緩和されたことは、「環境行政の後退」といわれる大事件です。この環境基準の緩和に科学的根拠があるのだろうか？という



ダンボールいっぱい資料

疑問を公害患者が環境庁(当時)にぶつけてみると、「その数値の根拠はない」という答えが返ってきました。このやり取りの記録である確認書は、患者会が作成する冊子には写真で掲載されています。ところが、その現物が見当たりません。一体ドコに行ったのやら…。



確認書が入っていたファイルと原本

資料と対面して、「現物っていいなあ」としみじみ感じました。この確認書をめぐる奮闘した患者さんや、弁護士さん、そして書かざるを得なくなった環境庁の苦心など、資料に詰まっているいろいろなことが見えてくるようです。

ほかには、大阪市の汚染データの数値が入った磁気テープがありました。しかし、この磁気テープ、どうやって読み取ればいいのか、良くわかりません。「重要な資料だ！」というオーラは磁気テープから出ているのですが、読み取り方を知っている方がいればぜひ教えてください。情報をおまわしております。



オーラをはなつ(?)磁気テープ

ハモン基金 寄付呼びかけ 朝日新聞に掲載されました

「苦難の歩み パネル化へ」という見出しで、朝日新聞にエコミューズによる寄付集めの記事が掲載されました(2008年2月14日付 大阪市版)。前号『資料館だより』で紹介しましたように、2007年



12月に活動資金「ハモン基金」を設置、まずは西淀川公害の展示パネルを作成したいと、目標額50万円をかかげて、みなさんに協力を呼びかけています。新聞記事を見た人からの問い合わせがあったり、直接、来館した人もいます。ありがとうございます。

この展示は8月の完成をめざしています。なぜ、公害問題がおこったのか、公害を防ぐ市民の力の大きさ、未来に向けて私たちのできること、など、来館者がそれぞれの視点で学ぶことのできる展示にしたいと思っています。どうぞ引き続き、ご協力をよろしく願いいたします。



パネルを使って授業

エコミューズの資料 学校の授業で活用

所蔵資料がいろんな場で活用されることで、資料は生きてきます。学習用パネル『知っていますか？西淀川の公害』

(B3版フルカラー16枚組み／

解説資料付、2001年作成)は、西淀川での大気汚染の様子や対策などを写真を使って学ぶことができます。小学生から大人まで幅広く利用できます。

今までは作成したものの、利用される機会が少ないのが悩みだったのですが、最近では西淀川区内の小学校で、ビデオ教材とあわせて教材開発者の一人、天野憲一郎教諭の授業で利用されています。その授業内容を撮影したビデオを他の学校の先生が見て、同じように授業に取り入れられたりと、ジワジワ利用が増えています。学習パネルや授業ビデオはエコミューズで貸出をおこなっていますので、どうぞお問い合わせください。

所蔵資料紹介

活用されるかな？ 所蔵資料をパソコンで 見られます。

資料館の資料は基本的に資料館でしか見ることができません。せっかくあるお宝資料をインターネットで見ることができるといいなあって思いませんか？

エコミューズの所蔵資料をインターネットで閲覧できるように、環境再生保全機構の受託事業で昨年度から電子化を行っています。「所蔵資料紹介」コーナーで取り上げた煙の写真やピラ、裁判の証人調書などはすでにPDFフ

16 電子化資料

ァイルになっています。

「見て公害がわかる写真」「年代順に理解できるニュース」「公害問題の大枠がわかるもの」「被害者の視点がわかるもの」といったテーマで資料を選びました。資料を選ぶ作業はとっても大変で、「たしか、こんな面白い資料があったはず」というおぼろげな記憶をもとに目録を検索して箱を開けて確認するくりかえし。しかし、これまで黙々と10年間資料を整理してきたことが役に立ち、ようやく“かわいい”資料たちが目の目を見るのかと思うとうれしくなります。



電子化資料のマイクロフィルム

ところが、電子化してもすぐには公開するわけにはいかないのです。個人情報などをどこまで公開するかという線引きについて議論をしていかなければなりません。エコミューズの資料たちが広く公開され、公害防止に一役たてる日はいつでしょうか。そう遠くない未来だといいいですね。(林)



その15.
遊び心のある町
平野町ぐるみ博物館
大阪市平野区平野本町
<http://www.omoroide.com>



新聞博物館の中

ブラブラ歩いているだけで、なんだか楽しい。

お寺、和菓子屋、自転車屋など、町のみなが「〇〇博物館」の看板をかかっているのを見ると、まるで「うちのお宝見て行ってー」と、あちこちから声をかけられているよう。



何が聞こえるかな？
「平野の音博物館」

現在常設館は15館。「運営者と訪問者とのコミュニケーションを通して、住民自身が楽しみながら地域を再発見しようとする試みです」とホームページにはあります。

平野は大阪の中でも最も早く開けた町で、町民が町を運営する自治都市の歴史があります。1980年におこった南海平野駅

舎の保存運動から端を発した町づくりは、単なるブームではなく、脈々と受け継がれてきた自治の心意気を感じました。そして「遊び心」が魅力ある町、人、文化には欠かせないことを教えてくれました。(2008年2月24日訪問/鎗山)

お知らせ
第2回 みんなで歩こう
西淀川の歴史めぐり
日程 ● 5月24日(土)
時間 ● 午前9時半集合
場所 ● 新佃公園(ローソン
佃2丁目店の向かい)
大阪市西淀川区佃2丁目
6「最寄駅」阪神本線「千
船」駅から徒歩5分
ガイド ● 小田康徳・エコミ
ューズ館長(大阪電気通信
大学教授)
定員 ● 30人
参加費 ● 300円
持ち物 ● 昼食、飲み物、



エコミューズ活動資金
【ハモン基金】
寄付協力をお願い

筆記用具
申込 ● 5月20日(火)ま
でにエコミューズまでご連絡
ください。
参加 ● 小学生から大人
までどなたでも参加でき
ます。
コース ● ウォーキングマップ
を片手に西淀川区の歴史
スポットを歩きます(佃、
御幣島、野里など)。7
8キロです。お昼過ぎ終了
予定。

●ハモン基金とは
エコミューズの活動を継続
的かつ発展的にすすめてい
くための活動資金です。
●寄付の方法
郵便局からお振込いた
だけます。また、直接エコ
ミューズにお越しいただい
ても結構です。
【口座番号】
00960191
【加入者名】あおぞら財団
※通信欄にハモン基金への
寄付とご記入ください。

西淀川 私の発見☆まめ情報 「十六マクワ」

かつて西淀川区の特産だったマクワウリ。「昔はマッカがようとれた」という話を聞いたことがあります。1970年代を最後に工業化による農地の減少などで栽培が途絶えていたのですが、地元西淀川高校で2年前に復活を果たしました。食べた感じは、あっさりしたメロンのよう。このエピソードは雑誌『Meets Regional』no.238(2008.4)に写真付き(エコミューズ提供)で紹介されました。(Y)



資料館だより No.17
2008年3月号(隔月1日発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/shiryou/>



エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
開館 ● 月曜日、金曜日(祝日は休み)
10:00AM~5:00PM [要予約]
利用 ● 図書の出し入れ期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ